作成者:システム開発研究所

作成日:令和7年10月22日

## 【ご参考】「印刷帳表の指定」画面の確認表の違い



「印刷帳表の指定」の各確認表の違いは次の通りです。

科目名が長い場合は、確認表上で科目名が切れて表示されることがありますが、 電子申告データでは切られずにそのままの科目名が正しく送られます。

作成者:システム開発研究所

作成日:令和7年10月22日

「読込結果確認表(XXX)」(「XXX」は財務諸表名) 読み込んだデータを、帳表形式で表示したものです。

(コード、読み込んだ科目、及び金額等)

「読み込んだ科目」欄は、読み込んだデータに基づいた階層構造で表示されます。

## 読込結果確認表

貸借対照表 - 印刷日:令和7年10月6日(11:23)

法 人 名: 千代田製造株式会社

P - 1

処理区分: 確定申告

コード	読み込んだ科目	金額 (円)	コード	読み込んだ科目	金額 (円)
AA0000000001	【資産の部】		AB0000000001	【負債の部】	
AA0000000002	流動資産		AB0000000002	流動負債	
AA0000000003	現金	8, 500, 000	AB0000000003	買掛金	2, 252, 000, 000
AA0000000004	当座○○預金	17, 180, 000, 000	AB0000000004	リース債務	269, 000, 000
AA0000000005	○○売掛金	5, 542, 000, 000	AB0000000005	未払金	2, 213, 000, 000
AA0000000006	リース投資資産	269, 000, 000	AB0000000006	未払法人税等	1, 403, 000, 000
AA0000000007	××商品	125, 000, 000	AB0000000007	未払事業所税	53, 000, 000
AA0000000008	仕掛品	243, 000, 000	AB0000000008	未払消費税等	502, 000, 000

「電子申告時の科目 (e-Tax 科目への対応付け)確認表」

読込んだデータの科目と、実際の電子申告時の科目(e-Tax 標準科目や独自科目)の対応表です。

「電子申告時の科目(e-Tax 科目への対応付け)」欄に「」が付いているものは、貴社独自科目です。

## 電子申告時の科目(e-Tax科目への対応付け)確認表

貸借対照表 – 印刷日:令和7年10月6日(11:23)

法 人 名: 千代田製造株式会社

P - 1

処理区分: 確定申告

行	コード	読み込んだ科目	金額 (円)		電子申告時の科目 (e-Tax科目への対応付け)
1	AA0000000001	【資産の部】			資産の部
2	AA0000000002	流動資産			流動資産
3	AA0000000003	現金	8, 500, 000		現金
4	AA0000000004	当座○○預金	17, 180, 000, 000		当座預金
5	AA0000000005	○○売掛金	5, 542, 000, 000	0	○○売掛金
6	AA0000000006	リース投資資産	269, 000, 000		リース投資資産
7	AA0000000007	××商品	125, 000, 000	0	××商品
8	AA0000000008	仕掛品	243, 000, 000		仕掛品

作成者:システム開発研究所

作成日:令和7年10月22日

「電子申告内容確認表(XXX)」(「XXX」は財務諸表名) 実際の電子申告データを、帳表形式で表示したものです。

大阪のも1年日グークと、「我代が」がでせたのとし

(電子申告時の科目及び金額等)

「電子申告時の科目」欄は、読み込んだデータに基づいた階層構造で表示されます。

## 電子申告内容確認表

貸借対照表 – 印刷日:令和7年10月6日(11:23)

法 人 名: 千代田製造株式会社

P - 1

処理区分: 確定申告

電子申告時の科目	金額 (円)	電子申告時の科目	金額 (円)	
資産の部		負債の部		
流動資産		流動負債		
現金	8, 500, 000	買掛金	2, 252, 000, 000	
当座預金	17, 180, 000, 000	リース債務	269, 000, 000	
○○売掛金	5, 542, 000, 000	未払金	2, 213, 000, 000	
リース投資資産	269, 000, 000	未払法人税等	1, 403, 000, 000	
××商品	125, 000, 000	未払事業所税	53, 000, 000	
仕掛品	243, 000, 000	未払消費税等	502, 000, 000	